

社会司牧通信



202510

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★ 教皇レオ十四世、10月のロザリオの祈りについての呼びかけ

10月11日(土)18時(日本時間：翌12日午前1時)から、サンピエトロ広場で、マリアの霊性の祝祭の前晩の祈りの中で、また第二バチカン公会議開幕も記念してともにロザリオの祈りを捧げます。

ライブ配信 ⇒ <https://www.youtube.com/live/J6MapK91bEA>



★ ラウダート・シ 10周年記念シンポジウム



「エコロジカルな霊性--和解を生きる--」

日時：2025年10月4日(土)13時～16時

会場：福岡サン・スルピス旧神学院

参加費：無料

申込み：申込不要。直接会場に起こし下さい。

オンライン視聴できます ⇒ <https://www.youtube.com/live/Av32erHxQik>



★『広島教区百年史』発売開始 広島教区百年史編纂委員会 編

教区百年史とはいえ、今から遡ること約150年、中国地方での再宣教開始からの歴史をまとめてあります。出典・参考文献等、詳細な資料の説明もあり、まさに歴史書。広島教区の「正義と平和の歩み」も確認できます。

広島では、「オリーブの樹」取り扱い有。

サンパウロのオンライン書店パウルス・ショップでも発売中。

<https://www.paulus.jp/product/21906>



●「外国人住民基本法」の制定を求める全国リレー集会 2025 in 広島

『分断と苦しみ時代を私たちはどう生きるのか』

日時：2025年10月19日(日)15:00～17:00

場所：日本バプテスト 広島キリスト教会

講師：金迅野さん(在日在韓教会横須賀教会 牧師)

* オンライン申込みあり ⇒



「外国人住民基本法」の制定を求める
全国リレー集会2025 in 広島

無料 『分断と苦しみ時代を
私たちはどう生きるのか』

講師と分断のサインドが社会に広がっているなか、「第一義」を掲げて、
クリスチャンとして、人権に基づいた新しい「われわれ」を
いかに構想・想像するのか、共に考えてみましょう。

日時 2025年10月19日(日) 15:00～17:00

場所 日本バプテスト
広島キリスト教会
広島市中区大町1-1-1
広島二階 広島市役所 隣 徒歩1分

オンライン申込み

オンライン参加をご希望の方は、
以下URL、QRコードから
お申し込みください。
<https://forms.gle/jj9JGMeWbHuhK3A>

講師：金迅野(きんしゅん)さん
(在日大韓基督教連合会 牧師)

本学連合会、出版部、1998年設立。在日大韓基督教連合会を母体として、2012年4月韓国連合会に加盟。在
日本基督教連合会連合会会長、立教大学キリスト教研究科特任教授、専門は、東洋神
学、(学文化)と「人権」教育、発展に「ヘイトをのりこえる教会」(大月書店、2023年)、「国
境のゆくえ」(みくに出版、2024年)、「在日在韓教会」(2024年)。

開催：外国人住民基本法の制定を求める全国リレー集会(外務省)
外国人住民との共生を実現する広島キリスト教連合会(広島キリスト教連合会)
協力：カトリック広島教区正義と平和推進デスク、在日大韓基督教連合会西部地方社会部
日本基督教連合会中部地区広島分区分、(一財)広島YWCA

主催：金迅野(きんしゅん)さん
広島市役所 広島市役所 隣 徒歩1分
電話：082-243-2001 メール：hoshinatsunobu@gmail.com

●署名のお願い

(署名用紙)「外国人住民基本法」と「人種差別撤廃基本法」の制定を
求める国会請願書

平和行事では、150名もの署名を回収させていただきました。

ご協力いただきました小教区のみなさまありがとうございました
引き続き2026年1月10日まで署名活動は継続しております。
ご協力よろしくお願いします。

署名用紙は、こちらからダウンロードできます。 ⇒



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』(5) 今自分がここにある意味

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



すべてのいのちを守る月間である9月のとある日曜日、マコは広島教区の司教座である幟町教会にいた。マコを居候させてくれている瀬川耕太神父によるミサ後の講話を手伝うためだった。瀬川神父は2年前にフランスを訪れた際に手に入れた『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』という本を翻訳して、いよいよそれが出版されるので、このエコロジーを考える季節に合わせて記念講話が行われたのだ。

講演を聞きながら、マコは不思議な想いの中にいた。自分が瀬川神父と出会い、西日本のとある街に住みながら、広島教区の活動に関わっているということに何か大きな手が働いている感じがするのだ。広島教区は、核なき世界を作っていこうと頑張っているらしい司教さんがおり、日本のカトリック教会で先駆けて教区の中に「ラウダート・シ」デスクが作られた。そこでボランティアをしているまゆみさん、他にも司教さんの思いと心をついに頑張ろうとするよき仲間たちがいる。

つい先日、東京に行く用事があった際、マコは一人暮らしをしている祖母を訪ねた。なんととはなしに、祖母の父のことを尋ねてみた。祖母が小学生の時に亡くなったということ、とても能力のある建築技師で、東京のカトリックの女子校の庭園を作ったことなどはなんとなく知っていたけれど、どんな人生だったのか、なんとなく聞いてみたくなったのだ。「そうねえ。優しいお父さんだったわよ。ちょっとそっかしいところもあったりしたけど、私たちを本当に可愛がってくれたの。」そうやって、遠い日々を懐かしそうに追憶しながら祖母はマコの曾祖父の栄造さんについて話してくれた。

祖母は太平洋戦争中は戦火を免れるために疎開先を転々としていた。栄造さんは、その建築技師としての経験をかかわれ、内務省の都市計画委員会に入れられており、さまざまな町へ派遣されていたのだそうだ。祖母が広島に疎開していたときもあったが、原爆が落ちる前に関東の方に移ったのだそうだ。栄造さんは、内務省の指示のもと原爆直後の広島に入って、市内をくまなく回り調査をしたのだという。それから5年

後、三ヶ月続けて狭心症を発症し昭和25年8月19日の早朝、息をしていないことに隣で寝ていた曾祖母が気づいた。誰かを呼ばなければと曾祖母が外に飛び出して駆けていくとシスターが踏切のところに立っていて臨終の洗礼を授けてくれたという話、あと四日早ければ遺族年金が出たのだという話もしてくれた。

戦後80年、平和へと向かって仲間たちと歩いていく道においてマコは大事な地点に立っているのだと感じた。原爆直後に曾祖父が広島にいたこと。今、マコが広島教区で活動していることは、大きな神の意志が働いていること、曾祖父が天からマコを見守ってくれているような気がするのだ。

瀬川神父の訳した本は、エコロジカルな回心のための祈りの旅路を歩みながら、具体的な活動へと私たちを導いてくれる。この本を通して、たくさんの人たちが地球を癒すため、核なき世界を作っていくための変容の道を歩んでいくことができるようにわたしも尽力しなくちゃ。そうマコは心に決めたのだった。

(つづく)

【教友社より10月発売決定！ お問い合わせは、ラウダート・シ デスク（正義と平和推進デスク）まで】

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp



H・SocialH・Social***H・Social***H・Social***H・Social***H・Social***

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net

9/21 すべてのいのちをま
もる月間 講演会の動画配信
QRコード

